

防災への意識改革 vol.215

乳幼児のいる家庭の備え～普段からの備えが大切～



今後30年以内に、マグニチュード8以上の南海トラフ巨大地震が起きる確率は、60～70パーセントといわれています。この巨大地震が発生した場合、本町では最大震度7の揺れに襲われ、死者は約200人、家屋の倒壊あるいは焼失は約2,800棟と想定されています。

これから生まれてくる赤ちゃんや、乳幼児のような小さな子どもたちが成人になるまでに、巨大地震に遭遇する可能性は非常に高いと思われます。また、近年では非常に多くの風水害が、この地方でも発生しています。幼児期からの防災教育は、近い将来における「子どもの命を守ること」「家族を守る減災」につながります。

家族への被害が少しでも軽減できるよう、皆さんで日ごろから防災意識を持つことが大切です。乳幼児がいる家庭では、特に普段から備えをしてください。

乳幼児のための備え

▽飲料水

発災直後から断水になるかもしれません。大人は1人1日3リットル必要といわれています。大人の分に合わせ、子どもの分も用意しておきましょう。

▽粉ミルク

日ごろから家庭でストックする習慣にしておきましょう。保存期間が短いので、注意してください。

▽哺乳瓶

▽家庭用カセットコンロ

停電になれば電気ポットは使えません。カセットコンロ、やかんなどで代用しましょう。

▽ベビーフード

▽食物アレルギー対応食品

食物アレルギーが心配な乳幼児へ、常備しておくことで安心です。

▽紙おむつ

日ごろから家庭でストックしておきましょう。

▽おしりふき

▽おんぶひも

避難するときに両手が使えないと、不便で危険です。

▽着替え

▽母子手帳

▽非常持ち出し袋



地震はいつ発生するか分かりません。平日の昼間は、母子だけの家庭が多いと思います。離れた家族と連絡をとる方法として「NTT災害伝言ダイヤル171」や各携帯電話会社の開設する「災害用伝言板」が有効です。利用方法の確認や、避難するときの集合場所をあらかじめ決めておくことが大切です。

また、家の中では、固定されていない家具、冷蔵庫、テレビなどが子どもや家族に倒れてくる恐れがあります。しっかりと固定し、室内の安全を確保しましょう。

役場防災交通課や保健センターでは、防災についての啓発冊子を配布したり相談に応じたりしています。気軽にご相談ください。

防災緊急情報を携帯電話で

町民の皆さんへ災害に関する情報、台風などの気象情報や国民保護に関する情報を迅速、的確にお知らせするために「あんしん防災ねっと」を開設しています。

災害時緊急メール

自分の携帯電話のメールアドレスを登録することで、町から発信する防災の緊急情報などをメールでお知らせします。(アドレスの登録は無料ですが、配信されたメールを受信するときに料金がかかる場合があります。)

携帯電話のインターネット接続画面からアドレス (<http://www.anshin-bousai.net/agui/>) を入力して、登録画面にお進みください。

※ すべての携帯電話端末に対応しています。

バーコードリーダー機能がある携帯電話をお持ちの方は、右のQRコードをご利用ください。

町ホームページ (<http://www.town.agui.lg.jp/>) から閲覧できます。

【登録者数】1,553人 (平成25年9月1日現在)

